RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 豊洲フォレシアルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 https://www.renesas.com/jp/ja/support/contact/

製	品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RX*-A0258A/J		Rev.	第1版
題名	RX140 a 誤記訂ī	グループ ユーザーズマニュアル ハードウェ E	ア編 Rev.1.00 の	情報分類	技術情報		
適			対象ロット等			,11°	
用製品	RX140 :	グループ	全ロット	関連資料	RX140 グループ ユー ハードウェア編 Rev. (R01UH0905JJ0100)	· ·	アニュアル

RX140 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.00 において誤記がありましたので、以下のとおり 訂正いたします。

•Page 43 of 1520

特長章の消費電力低減機能において、ソフトウェアスタンバイモード時の消費電流と、ソフトウェアスタンバイからの復帰時間の条件を以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

■消費電力低減機能

- 1.8V ~ 5.5V 動作の単一電源
- 4種類の低消費電力モード
- ソフトウェアスタンバイ中も動作可能なローパワータイマ を搭載
- 消費電流

高速動作モード: 58µA/MHz

ソフトウェアスタンバイモード: 0.21μ A (typ. $T_a = 25$ °C)

ソフトウェアスタンバイからの復帰時間:6.2μs(クロック ソース: HOCO 32MHz 選択時)

【変更後】

■消費電力低減機能

- 1.8V ~ 5.5V 動作の単一電源
- 4種類の低消費電力モード
- ソフトウェアスタンバイ中も動作可能なローパワータイマ を搭載
- 消費電流

高速動作モード: 58µA/MHz

ソフトウェアスタンバイモード: 0.25μ A (typ.) ($T_a = 25$ °C)

ソフトウェアスタンバイからの復帰時間: 6.2μs (typ.)
(クロックソース: HOCO 32MHz 選択時、T_a = 25°C)



• Page 183 of 1520

「9.2.15 CLKOUT 出力コントロールレジスタ (CKOCR)」において、CKOSEL[3:0] ビットの選択肢に以下のとおり CTSU 内部クロックを追加いたします。

【変更前】

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b11-b8	CKOSEL[3:0]	CLKOUT 出力ソース選択ビット	b11 b8 0000:LOCOクロック 0001:HOCOクロック 0010:メインクロック 0011:サブクロック 0100:PLL 上記以外は設定しないでください	R/W

【変更後】

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b11-b8	CKOSEL[3:0]	CLKOUT 出力ソース選択ビット	b11 b8 0000:LOCOクロック 0001:HOCOクロック 0010:メインクロック 0011:サブクロック 0100:PLL 1000:CTSU内部クロック 上記以外は設定しないでください	R/W

Page 283 of 1520

「表 14.3 割り込みベクタテーブル (3/6)」において、真性乱数生成器のモジュールシンボルと割り込みシンボルを以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

表 14.3 割り込みのベクタテーブル (3/6)

割り込み 要求発生元	名称	ベクタ 番号 ^(注1)	ベクタ アドレス オフセッ ト	割り込み 検出方法	CPU 割り込み	DTC 起動	SSBY 復帰	IER	IPR	DTCER	
				(省略)							
TRNG	TRNGRDI	113	01C4h	エッジ	0	0	×	IER0E.IEN1	IPR113	DTCER113	
	(省略)										

【変更後】

表 14.3 割り込みのベクタテーブル (3/6)

割り込み 要求発生元	名称	ベクタ 番号 ^(注 1)	ベクタ アドレス オフセッ ト	割り込み 検出方法	CPU 割り込み	DTC 起動	SSBY 復帰	IER	IPR	DTCER	
				(省略)							
RNG	RNGRDI	113	01C4h	エッジ	0	0	×	IER0E.IEN1	IPR113	DTCER113	
	(省略)										

•Page 1312 of 1520

「35.8.3 A/D 変換強制停止と開始時のタイミング」を、以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

12 ビット A/D コンバータのアナログ部が停止した状態で ADCSR.ADST ビットを "1" に設定し 12 ビット A/D コンバータのアナログ部が動作を開始するのに ADCLK で最大 6 クロックの時間を必要とします。 ADCSR.ADST ビットを "0" に設定して A/D 変換を強制停止させると、12 ビット A/D コンバータのアナログ部が動作を停止するのに、ADCLK で最大 3 クロックの時間を必要とします。

【変更後】

12 ビット A/D コンバータのアナログ部が停止した状態で ADCSR.ADST ビットを "1" に設定し 12 ビット A/D コンバータのアナログ部が動作を開始するのに ADCLK で最大 6 クロックの時間を必要とします。 ADCSR.ADST ビットを "0" に設定して A/D 変換を強制停止させると、12 ビット A/D コンバータのアナログ 部が動作を停止するのに、ADCLK で最大 3 クロック (ADCLK が PCLKB より高速な場合 (PCLKB: ADCLK 周波数比 = 1:2 の設定)では、最大 1 PCLKB + 2 ADCLK) の時間を必要とします。

• Page 1449 of 1520

「表 42.12 DC 特性 (9)」の条件を、以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

表 42.12 DC 特性 (9)

条件: $1.8V \le VCC \le 5.5V$, $1.8V \le AVCC0 \le 5.5V$, VSS = AVSS0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105$ °C

	項目	記号	min	typ	max	単位	測定条件
電源投入時	通常起動時 ^(注 1)	SrVCC	0.02	_	20	ms/V	
VCC 立ち上がり勾配	起動時間短縮時(注2)		0.02	_	2		
	起動時電圧監視 0 リセット 有効時 ^(注 3、注 4)		0.02	_	_		

【変更後】

表 42.12 DC 特性 (9)

条件: $0V \le VCC \le 5.5V$, $0V \le AVCC0 \le 5.5V$, VSS = AVSS0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105$ °C

	項目	記号	min	typ	max	単位	測定条件
電源投入時	通常起動時 ^(注 1)	SrVCC	0.02	_	20	ms/V	
VCC 立ち上がり勾配	起動時間短縮時 (注2)		0.02	_	2		
	起動時電圧監視 0 リセット 有効時 ^(注 3、注 4)		0.02	_	_		

• Page 1452 of 1520

「表 42.15 出力許容電流値 (2)」において、出力 Low レベル許容電流 2 行目の PJ7 を以下のとおり PG7 に訂正 いたします。

【変更前】

表 42.17 出力許容電流値 (2)

条件: $1.8V \le VCC \le 5.5V$, $1.8V \le AVCC0 \le 5.5V$, VSS = AVSS0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105$ °C

	項目	記号	max	単位
出力Low レベル許容電流	P03~P07、 P40~P47、 PJ6、PJ7の合計	ΣI _{OL}	30	mA
	P12~P17、 P20、P21、P26~P27、 P30~P32、P34~P37、 PH2、PH3、 PJ1、PJ7の合計		30	
	P54、P55、 PB0~PB7、 PC2~PC7、 PH0、PH1の合計		30	
	PA0~PA6、 PD0~PD2、 PE0~PE5の合計		30	
	全出力端子の総和		60	

【変更後】

表 42.17 出力許容電流値 (2)

条件: $1.8V \le VCC \le 5.5V$, $1.8V \le AVCC0 \le 5.5V$, VSS = AVSS0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105 ^{\circ}C$

	項目	記号	max	単位
出力Low レベル許容電流	P03~P07、 P40~P47、 PJ6、PJ7の合計	ΣI _{OL}	30	mA
	P12~P17、 P20、P21、P26~P27、 P30~P32、P34~P37、 PG7、PH2、PH3、 PJ1の合計		30	
	P54、P55、 PB0~PB7、 PC2~PC7、 PH0、PH1の合計		30	
	PAO~PA6、 PDO~PD2、 PEO~PE5の合計		30	
	全出力端子の総和		60	

発行日: 2022年4月15日

• Page 1457 of 1520

「表 42.30 クロックタイミング」において、HOCO 発振周波数誤差に以下のとおり脚注を追加いたします。

【変更前】

表 42.30 クロックタイミング

条件: $1.8V \le VCC \le 5.5V$, $1.8V \le AVCC0 \le 5.5V$, VSS = AVSS0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105$ °C

項目	記号	min	typ	max	単位	測定条件				
	(省略)									
HOCO 発振周波数	f _{HOCO}	_	24, 32, 48	_	MHz					
HOCO 発振周波数誤差	Δf_{HOCO}	_	_	±1.5	%	$T_a = -40 \sim -20^{\circ}C$				
		_	_	±1.0		$T_a = -20 \sim +85^{\circ}C$				
		_	_	±2.0		T _a = +85 ~ +105°C				
HOCO クロック発振安定時間	t _{HOCO}		_	4.95	μs	図 42.13				
	(省略)									

- 注1. メインクロック発振器停止ビット(MOSCCR.MOSTP)を"0" (動作)にしてから、使用できるまでの時間です。
- 注2. 8MHzの発振子を使用した場合の参考値です。 メインクロック発振安定時間は、発振子メーカが推奨する安定時間以上の値をMOSCWTCRレジスタに設定してください。 MOSCCR.MOSTPビットでメインクロック発振器を動作設定に変更後、OSCOVFSR.MOOVFフラグが"1"になっていることを確認してから、メインクロックの使用を開始してください。
- 注3. 32.768kHzの発振子を使用した参考値です。 SOSCCR.SOSTP ビットでサブクロック発振器を動作設定に変更後、サブクロック発振安定時間として発振子メーカが推奨する安定時間以上の時間が経過した後、サブクロックの使用を開始してください。
- 注4. 32.768kHzのみ使用可能です。

【変更後】

表 42.30 クロックタイミング

条件: $1.8V \le VCC \le 5.5V$, $1.8V \le AVCC0 \le 5.5V$, VSS = AVSS0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105 ^{\circ}C$

項目	記号	min	typ	max	単位	測定条件		
	(省略)						
HOCO 発振周波数	f _{HOCO}	_	24, 32, 48	_	MHz			
HOCO 発振周波数誤差 ^(注 5)	Δf_{HOCO}	_	_	±1.5	%	$T_a = -40 \sim -20^{\circ}C$		
		_	_	±1.0		$T_a = -20 \sim +85^{\circ}C$		
		_	_	±2.0		$T_a = +85 \sim +105$ °C		
HOCO クロック発振安定時間	t _{HOCO}	_	_	4.95	μs	図 42.13		
(省略)								

- 注1. メインクロック発振器停止ビット(MOSCCR.MOSTP)を"0" (動作)にしてから、使用できるまでの時間です。
- 注2. 8MHzの発振子を使用した場合の参考値です。 メインクロック発振安定時間は、発振子メーカが推奨する安定時間以上の値をMOSCWTCRレジスタに設定してください。 MOSCCR.MOSTPビットでメインクロック発振器を動作設定に変更後、OSCOVFSR.MOOVFフラグが"1"になっていることを確認してから、メインクロックの使用を開始してください。
- 注3. 32.768kHzの発振子を使用した参考値です。 SOSCCR.SOSTPビットでサブクロック発振器を動作設定に変更後、サブクロック発振安定時間として発振子メーカが推奨する安定時間以上の時間が経過した後、サブクロックの使用を開始してください。
- 注4. 32.768kHzのみ使用可能です。
- 注5. 出荷テスト時の精度です。

Page 1486 of 1520

「表 42.51 A/D 変換特性 (2)」において、積分非直線性誤差の最大値を以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

表 42.51 A/D 変換特性 (2)

条件: 2.4V ≦ VCC ≦ 5.5V, 2.4V ≦ VREFH0 = AVCC0 ≦ 5.5V ^(注1), VSS = AVSS0 = VREFL0 = 0V, T_a = -40~+105°C, 信号源インピーダンス = 1.3kΩ

VREFH0を基準電圧にしたとき

項目	min	typ	max	単位	測定条件			
(省略)								
INL積分非直線性誤差	_	±1.5	3.0	LSB				

【変更後】

表 42.51 A/D 変換特性 (2)

条件 : $2.4V \le VCC \le 5.5V$, $2.4V \le VREFH0 = AVCC0 \le 5.5V$ $^{(\dot{\Xi}1)}$, VSS = AVSS0 = VREFL0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105$ °C, 信号源インピーダンス = 1.3k Ω

VREFH0を基準電圧にしたとき

項目	min	typ	max	単位	測定条件					
(省略)										
INL積分非直線性誤差	_	±1.5	±3.0	LSB						

•Page 1489 of 1520

「表 42.54 A/D 変換特性 (5)」において、積分非直線性誤差の標準値を以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

表 42.54 A/D 変換特性 (5)

条件 : $1.8V \le VCC \le 5.5V$, $1.8V \le VREFH0 = AVCC0 \le 5.5V$ $\stackrel{\text{(注1)}}{}$, VSS = AVSS0 = VREFL0 = 0V, $T_a = -40 \sim +105$ °C, 信号源インピーダンス = $5k\Omega$

VREFH0を基準電圧にしたとき

項目	min	typ	max	単位	測定条件					
(省略)										
INL積分非直線性誤差	_	±1.0	±3.5	LSB						

【変更後】

表 42.54 A/D 変換特性 (5)

条件: 1.8V ≦ VCC ≦ 5.5V, 1.8V ≦ VREFH0 = AVCC0 ≦ 5.5V ^(注1), VSS = AVSS0 = VREFL0 = 0V, T_a = -40~+105°C, 信号源インピーダンス = 5kΩ

VREFH0を基準電圧にしたとき

項目	min	typ	max	単位	測定条件				
(省略)									
INL積分非直線性誤差	_	±1.5	±3.5	LSB					

•Page 1503 of 1520

「表 42.69 E2 データフラッシュ特性 (2) 高速動作モード」において、データフラッシュ STOP 解除時間の単位を以下のとおり訂正いたします。

【変更前】

表 42.69 E2 データフラッシュ特性 (2) 高速動作モード

条件: 1.8V ≦ VCC ≦ 5.5V, 1.8V ≦ AVCC0 ≦ 5.5V, VSS = AVSS0 = 0V

プログラム/イレーズ時の動作温度範囲: T_a = -40~+105°C

項目	記号	FCLK = 1MHz			FCLK = 32MHz			FCLK = 48MHz			»× /⊥
		min	typ	max	min	typ	max	min	typ	max	単位
(省略)											
データフラッシュ STOP 解除時間	t _{DSTOP}	250	_	_	250	_	_	250	_	_	μs

【変更後】

表 42.69 E2 データフラッシュ特性 (2) 高速動作モード

条件: 1.8V≦VCC≦5.5V, 1.8V≦AVCC0≦5.5V, VSS = AVSS0 = 0V

プログラム/イレーズ時の動作温度範囲: T_a = -40~+105°C

項目	記号	FCLK = 1MHz			FCLK = 32MHz			FCLK = 48MHz			単位
		min	typ	max	min	typ	max	min	typ	max	単位
(省略)											
データフラッシュ STOP 解除時間	t _{DSTOP}	250	-	_	250	Ī	-	250	ı	ı	ns

以上

発行日: 2022年4月15日